和して進む

大野小だより　令和３年度　第15号
令和４年３月24日発行
TEL：42-1011　FAX：43-7268
E-mail：ohnosho@tac-net.ne.jp

令和３年度　卒業式　式辞　　『一人に　一つずつ』（抜粋）

春の雨が土を潤し、校庭の木々も促されるように新しい芽を出し、伸びようとしています。

ただ今、卒業生の皆さんに卒業証書を授与しました。卒業おめでとうございます。卒業証書には、12年間生きてきた皆さんの人生の半分がつまっています。大切にしてください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。この２年間は、今までにない状況の中、本当に多くのご協力とご支援をいただきました。皆様のおＮ力添えがあったからこそ、子どもたちも困難を乗り越え、大きく成長することができました。卒業生は、保護者や学校だけでなく、地域にとっても大切な子どもたちです。子どもたちのさらなる成長に向け、三者で力を合わせて温かく見守っていけたらと思います。

さて、卒業生の皆さんに、大切にしていってほしいことをお話しします。皆さんの卒業文集を読みました。文集には主に二つのことが書かれていました。一つは、将来の「夢」と、その夢に向かって「努力」したいということでした。皆さんは、自分、友達や下級生、そして大野小のために本当によくがんばってくれました。愛知県出身の野球のイチロー選手は、「夢や目標を達成するには、一つしか方法がない。それは、小さなことを積み重ねること」と言っています。夢の実現のために、努力することを大切にしてください。

もう一つは、小学校６年間の「思い出」でした。皆さんと一緒に過ごした３年間で忘れられない光景が二つあります。その光景が、会場の左右に飾ってある写真です。

【 令和２年２月２８日 】

１枚は、４年生の２月28日、突然臨時休校になることになった日の写真。次の月曜日から学校が休みになることについて、担任の先生から話を聞いているところです。「これからどうなっていくのか？」全く分からない不安な状況にもかかわらず、担任の先生の話を真剣に聞いている皆さんの姿が忘れられません。

もう１枚は、修学旅行での写真です。皆さんは、５年生のキャンプに出かけることができませんでしたが、代わりのデイキャンプで担任の先生と笑顔で一生懸命取り組んでいました。６年生の５月の修学旅行も延期。12月に修学旅行へ出かけ、若草山で笑顔の写真を撮ることができたときは修学旅行に来られて本当によかったと思いました。でも、それ以上に感動したのは、旅行中の皆さんの姿でした。６年間楽しく過ごしたこともあれば、思いが衝突したこともあったでしょう。しかし、皆さんはそれを乗り越え、するべきことや友達のことを、本当によく考えて行動していました。皆さんの努力と成長があったからこそ、すばらしい修学旅行にすることができました。そんな皆さんを見て、『想』の文字が思い浮かびました。「相」はお互いに向き合うこと、「心」は心を表しています。これからの人生においても、「人を想う」ことを大切にしてください。そんな「人を想う」皆さんへのメッセージとして、「まあるいいのち」の演奏を贈ります。

【 修学旅行の若草山で 】

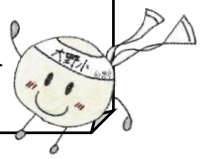
♪「まあるいいのち」の贈り物 ♪

全ての人が『一人に　一つずつ　大切な命』をもっています。『自分』も『人』も大切にしていってください。最後に、本校は明治６年に学区の三つの地域に最初の学校ができたときから数え、間もなく150年になります。皆さんが受け継いでくれた、伝統の「襷（たすき）」である「和して進む」、そして「日本一　みんなにっこり大野小」を、大野小学校はこれからも大切にしていきます。卒業生の皆さんの輝かしい未来を願い、式辞といたします。

令和４年３月18日
常滑市立大野小学校長　齋田強一

令和３年度の修了式を無事迎えることができました。昨年度に引き続き、思うように授業や行事ができない時期もありましたが、保護者・地域の皆様のお陰で、大きなことはなく一年を終えることができました。

さまざまなご配慮、ご協力に深く感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。



（文責：齋田強一）